

発行日: 2010年03月05日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名:メチレンクロライド

会社名:山一化学工業株式会社

住所:東京都台東区上野1-10-12(商工中金・第一生命上野ビル10F)

担当部署:生産本部那須工場技術課

電話:03-3832-8121

FAX:03-3835-3820

緊急連絡先電話番号:0287-98-2780

製品番号(MSDS NO):00025006-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性経口:区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する損傷性/眼刺激性:区分 2

発がん性:区分 2

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分 1

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1

環境に対する有害性

水生毒性-急性:区分 2

水生毒性-慢性:区分 2



注意喚起語:危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚刺激

眼への刺激

発がんのおそれの疑い

単回暴露により中枢神経/中枢神経系、呼吸器/呼吸器系の障害

(麻酔作用)眠気およびめまいのおそれ

長期または反復暴露による臓器中枢神経/中枢神経系、肝臓の障害

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

予防

蒸気を吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

発行日：2010年03月05日

製品安全データシート

BRクリーナー 2 1

1. 製品及び会社情報

製品名：メチレンクロライド

会社名：山一化学工業株式会社

住所：東京都台東区上野1-10-12(商工中金・第一生命上野ビル10F)

担当部署：生産本部那須工場技術課

電話：03-3832-8121

FAX：03-3835-3820

緊急連絡先電話番号：0287-98-2780

製品番号(MSDS NO)：00025006-1

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性経口：区分 4

皮膚腐食性/刺激性：区分 2⁺

眼に対する損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回暴露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回暴露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復暴露)：区分 1

環境に対する有害性

水生毒性-急性：区分 2

水生毒性-慢性：区分 2



注意喚起語：危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚刺激

眼への刺激

発がんのおそれの疑い

単回暴露により中枢神経/中枢神経系、呼吸器/呼吸器系の障害

(麻酔作用)眠気およびめまいのおそれ

長期または反復暴露による臓器中枢神経/中枢神経系、肝臓の障害

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

予防

蒸気を吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

保護手袋を着用する。
 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
 必要な個人用保護具を使用する。

対応

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
 口をすすぐ。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
 漏出物を回収する。
 飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡する。
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。
 吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。
 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。
 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

保管

施錠して保管する。
 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

廃棄

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

分類の名称(分類基準は日本方式)、

急性毒性物質

その他の有害性物質

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
ジクロロメタン	≥99	75-09-2	(2)-36

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」に該当する成分

ジクロロメタン

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分

ジクロロメタン

4. 応急措置

一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

暴露した場合:医師に連絡する。

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

飲み込んだ場合:

口をすすぐ。

無理に吐かせてはならない。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

封じ込めおよび浄化方法と機材

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

関係者以外は近づけない。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

蒸気を吸入してはならない。

必要な個人用保護具を使用する。

安全取扱い注意事項

保護手袋を着用する。

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

換気のよい場所で使用する。

必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管する。

換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

直射日光を避ける。

冷暗所にて保管

避けるべき保管条件

日光から遮断する。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(ジクロロメタン)作業環境評価基準(2004) <= 50 ppm

許容濃度

(ジクロロメタン)日本産衛学会(1999) 50ppm; 170mg/m³; (ceiling) 100ppm; 340mg/m³

(ジクロロメタン)ACGIH (1997) TWA: 50ppm (一酸化炭素ヘモグロビン血症; 中枢神経系

損傷)

個人用保護具などの個人保護措置

呼吸器用の保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

- 保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
- 保護手袋および保護衣を着用する。
- 顔面保護具を着用する。
- 適切な衛生対策
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
- この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态
- 形状 :無色透明液体
- 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
- 初留点/沸点 :39.7°C
- 引火点 :なし°C
- 溶解性
- 水に対する溶解性 :1.3g/100ml(20°C)

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性
- 予期される通常の保管および取り扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

- 物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状
- 急性毒性
- 経口毒性成分データ
- (ジクロロメタン)ラット LD50 2136 mg/kg
- 吸入毒性成分データ
- (ジクロロメタン)マウス LC50 14400ppm/7H
- 局所効果
- 皮膚腐食性/刺激性成分データ
- (ジクロロメタン)ラビット 810 mg/24H ; SEVERE
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
- 眼損傷性/刺激性成分データ
- (ジクロロメタン)ラビット 162 mg ; MODERATE ラビット 10 mg ; MILD
- がん原性
- (ジクロロメタン)IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
- (ジクロロメタン)ACGIH-A3(1997) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- (ジクロロメタン)日本産衛学会-2B : 人間に対しておそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質
- (ジクロロメタン)EPA-グループB2 ; おそらくヒト発がん性(1986)
- (ジクロロメタン)NTP-合理的にヒト発がん性であることが予測される
- (ジクロロメタン)EU-発がん性カテゴリ3 ; ヒト発がん性の可能性がある

12. 環境影響情報

- 生態毒性
- 水生毒性
- 水生生物に毒性
- 長期的影響により水生生物に毒性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生毒性(成分データ)

(ジクロロメタン)魚類(ファットヘッドミノー) LC50=5.2 mg/L/96hr (EHC164, 1996)

水溶解度

(ジクロロメタン)1.3 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2000)

残留性と分解性

(ジクロロメタン)BODによる分解度:13%(既存化学物質安全性点検データ)

生態蓄積性

(ジクロロメタン)log Pow=1.25 (ICSC, 2000) ; BCF=40(Check & Review, Japan)

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する

法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

廃棄物処理法

法第2条第5項、施行令第2条の4特別管理産業廃棄物:2mg/L以上含有する、または0.2mg/L以上溶出するもの

水質汚濁防止法

施行令第2条有害物質、排水基準を定める省令第1条:排水 =< 0.2mg/L

下水道法

施行令第9条の4水質基準物質:水質基準 =< 0.2mg/L

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類):ジクロロメタン

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

第2種有機溶剤等:ジクロロメタン

名称表示危険/有害物(令18条):ジクロロメタン

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):ジクロロメタン

健康障害防止指針公表物質(第28条3項):ジクロロメタン

労働基準法 疾病化学物質:ジクロロメタン

通達 変異原性(既存化学物質):ジクロロメタン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:09年10月PRTR改正対応 ジクロロメタン 100% 政令番号(旧:145 新:186)

消防法に該当しない。

化審法

第2種監視化学物質:ジクロロメタン

土壌汚染対策法

法第2条第1項、施行令第1条特定有害物質:地下水 < 0.02mg/L
ジクロロメタン

大気汚染防止法

施行令附則第3項指定物質:環境基準=<0.15mg/m³/yearAve.

16. その他の情報

参考文献

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2008 TLVs and BEIs. (ACGIH)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであつて、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。